

自動アテンダントによって転送される Unity Connection コールが正しく扱われない

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[コール転送](#)

[発信者システム転送](#)

[加入者システム転送](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[手順](#)

[関連情報](#)

概要

コールが VG224 に接続されるアナログ式電話に Cisco Unity Connection による自動転送によって転送され行が使用中であるとき、この不正確な音声メッセージを受け取ります:

この数に転送することができません。数および試みを再度チェックして下さい

これは記述しますこの問題を解決する方法を文書化します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Unified 通信マネージャ 5.x
- Cisco SCCP VG224 ゲートウェイ
- Cisco Unity Connection バージョン 2.x

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Unified 通信マネージャ 5.1.(3)

- Cisco SCCP VG224 ゲートウェイ
- Cisco Unity Connection バージョン 2.0

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

[コール転送](#)

[発信者システム転送](#)

このカンバセーションは、転送先の番号を入力するよう発信者に促します。Cisco Unity を通話料の不正および不正使用から保護するために、Cisco Unity は転送を時だけデフォルト SystemTransfer 制限テーブル割り当てそれを行います。

[加入者システム転送](#)

このメッセージ交換は発信者を Cisco Unity にログオンするためにプロンプト表示します。発信者が Cisco Unity ユーザ ID およびパスワードを入力した後、Cisco Unity は転送したいと思う数を入力するためにそれらをプロンプト表示します。これは通話料の不正および不正使用から Cisco Unity を保護することです。Cisco Unity はログオンしたサブスクライバに対するサービスクラスと関連付けられる転送制限テーブルによって許可されたときだけだけ転送を行います。

[問題](#)

コールは適切な呼出し処置をユーザが VG224 および Unity Connection を通した自動転送によって転送される拡張に接続されるアナログ式電話を使用している拡張をダイヤルする場合です使用中得ません。メッセージ「この数に転送することができません。数をチェックすれば試みはファースト ビジーシグナルの代わりに再度」されます。

[解決策](#)

これは Cisco Unity Connection が特定のディレクトリ番号が CallManager の 1 に設定されるとき使用中、Busy Trigger がある拡張への発信者システム転送をすると起こります。この場合、Cisco Unity Connection はメッセージを再生します: この数に転送することができません。数および試みを再度チェックして下さい

[手順](#)

設計されているように、Cisco Unity Connection はこの数に転送することができないメッセージを再生します。数および試みを再度チェックして下さい。数が正しい場合、演劇が数であるはずであることメッセージは数が使用中である時はいつでも) 使用中試みます以降です (または同等のメッセージを。望ましいメッセージを実現させるために上記の問題への回避策が下記のステップに従うように。

1. Cisco Unified Communications Manager (CallManager) の変更を行なって下さい。ダミー 拡張子にアナログ式電話のために内部および外部 Call Forward Busy を設定して下さい。ダミー 拡張子のための CTI ルートポイントを作成し、この拡張のための音声メールに call forward all を設定して下さい。既存のデフォルト音声メール プロファイルをコピーし、上記の拡張に音声 メールボックス マスクが設定されていると新しいものを作成して下さい。ステップ 2. で作成した CTI ルートポイントにこのプロファイルを適用して下さい。
2. Cisco Unity Connection の変更を行なって下さい。コール ハンドラを (たとえば、使用中コール ハンドラ) 作成し、メッセージを記録して下さい: ダイヤルしている数は使用中です。 *Please try again later* 音声メールの開始グリーティング コール ハンドラにコールを発信して下さい (または要件によってハンガアップして下さい)。フォワーディング パーティがダミー 拡張子のとき前方ルーティング ルールを作成し、使用中コール ハンドラにルーティングするためにコールを設定して下さい。

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)